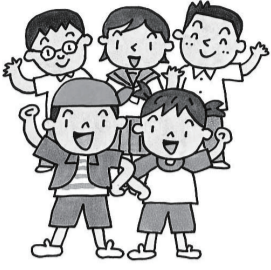


大府 かわら版



子どもの「遊びの権利」保障 さらに!!

5月臨時会 おもちゃ美術館のあり様など質疑

日本共産党・久永かずえ市議

製造請負契約の締結

5月13日(水)に臨時市議会が開かれ、議会人事と補正予算の案件が出されました。今号はその一部について報告します。

来年度開館予定の「おもちゃ美術館」(仮称・横根町の旧デザイナービセンターを改修)。館内に置く家具やおもちゃを「芸術と遊び創造協会」(東京・特定非営利活動法人)から購入する随意契約の議案について質問しました。

●久永市議の質問：購入予定額は約2億9500万円と、とても高額。市販品でなく大府市オリジナルのデザインでプロデュースされ「オリジナル」という付加価値がつくからだろうが、おもちゃは購入して終わりではない。子どもたちに愛された分、消耗品として買い替えも必要となる。今後のランニングコスト(期間と金額)をどう見込んでいるのか？

▼市の答弁：製作から設置までの委託のため修繕費用などのランニングコストは含まれていない。オリジナルのため、損傷状況に合わせて個別におもちゃ美術館の事務局と協議していく。他のおもちゃ美術館を参考に予算化していく。

●久永市議の質問：他を参考にするならランニングコストの概算が出るのでは？

▼市の答弁：来年度開

館に向けて予算化していく。

●久永市議の質問：安全性からも家具や遊具の定期的なメンテナンスが必要。「芸術と遊び創造協会」は東京が拠点だが、安全のための点検・管理は具体的にどのようなにされるのか？

▼市の答弁：点検等は毎日、閉館後に行う。「芸術と遊び創造協会」と連携して日常的に点検・管理する。遊具や玩具の安全基準を踏まえて必要な安全性を確保し安全で継続的に利用できる環境を整えていく。

質疑ののち同随意契約議案は可決。久永議員も、オリジナルの家具や木のおもちゃが多くの子どもたちの手に触れて長く愛されることを期

待して賛成。討論で以下のように述べました。

●久永市議の賛成討論

乳幼児中心の施設のため、保護者同伴とはいえ安全点検は不可欠。さらに、高額な購入費に加え長く維持・継続していくための予算も必要。今後どう維持管理していくのか注視していく。

一方で「あそび場がない」という地域の声に比べ、公園の整備、自転車の練習やキャッチボールができる多目的広場の意識的拡充が必要。市所有地の活用や、広場適地の市での借り上げなど、身近な地域で自由に利用できるあそび場の確保が「おもちゃ美術館」整備と並行して進み、子どもたちにとって一番大切な「あそびの権利」が身近な地域でも保障されていく事を期待する。

値上げを専決処分!? 国保税 条例改正しないまま

「専決処分」とは本来、議会を開いて決めることを市長が議会に代わって意思決定すること。こうして4月から実施された国保税の値上げについて、今臨時会で承認するかどうかがはかられました。日本共産党の久永かずえ議員は、専決処分は認められないという立場で反対。次の理由を明らかにしました。

◆値上げのための条例改正をせずに予算化された。

◆子ども子育て支援金制度そのものに命に係わる保険料に上乗せして支援金を徴収する。逆進性をもつ。収入の低い加入者が多い国民健康保険の方が保険料に対する支援金の負担割合が高くなる、などの問題がある。

◆3月議会での引き上げに加えさらに増税となる。所得割と均等割の引き上げに、子ども子育て支援納付金分が上乗せされたことで「夫婦と子ども2人の4人世帯」のモデルケースでみると、所得が250万円の場合、税負担は1万5800円増え年間46万900円に。さらに子ども子育て支援分が9603円上乗せされ、家族4人で2万5403円の負担増となる。しかも子ども子育て支援納付金は、県の標準基準額を目指して今後も2段階で引き上げられる。以上のことから反対する。

6月定例会市議会 (予定)

- 2日(火) 初日
- 11日(木) 一般質問
- 12日(金) 一般質問
- 15日(月) 一般質問予備日
- 17日(水) 建設産業委員会
- 18日(木) 厚生文教委員会 (久永市議)
- 19日(金) 総務委員会
- 24日(水) 最終日

相談はお気軽に
声かけください

生活相談 日常生活の困りごとについてご相談ください。

法律相談 予約制で弁護士が対応 無料

6月17日(水)午後6時~

お急ぎの方も、まずは久永議員へ
久永かずえ 090-1758-3521
携帯電話

